



《甌島・里》

12月下旬、甌島の里に蝶菜丸さんで出かけて来ました。降りた磯は獅子の口の5番（通称地磯の5番）で、ここは、上げ潮・下げ潮どちらの潮も釣れますが、上げ潮の方が、釣りやすく数も出ると言われます。今日の潮は干潮が朝の6時過ぎで、満潮が昼の12時前ぐらいの小潮回りなので、回収の12時30分まで、ほぼ上げ潮を釣る感じです。ただこの日は、風が強く、釣りづらかったのですが、潮が、はつきり動いてくれたので何とか感じた感じです。

マキエサ

まずは、明るくなる前に、マキエサ作りです。今回、用意したマキエサは、オキアミ（生）3kgを2角。ジャンボアミ1角。配合エサにマルキユーのV9と、新製品のアミパワーグレSPと沖撃ちスペシャルを各1袋ずつ準備して、これを2回に分けて作ります。今回、風が強いので水加減には特に気を付けて、バサバサにならないように、ビチャビチャにならないように、気をつけながら混ぜます。この作業は、特に風の強い時は重要なので、ていねいに作るようにします。

次に仕掛け作りですが、その前にマキエサを打って潮・エサ盗りを確認しますが、うす暗いので、解る

が盗られる時は、道糸を張り加減にして少し浅めを釣るように、逆にエサが残って来る時は、道糸を多めに出して深めのタナを釣るようにします。



風が強くて、思うように仕掛けを入れられない時は、無理せず、マキエサだけをコンスタントに入れて風が落ちつくのを見て、仕掛けを投入するようにします。また、潮が速くなったと感じた時は、ウキ止めを二気に浅くして（約20cmハリスにジリタンシズ（G5）を1個付けもしくは2個付け（均等打ち）しながら、潮になじませます。

さらにマキエサが効いて、エサ盗り（主にイスズミ）が掛かり出したら、その潮すじ狙いから磯際、沈み瀬、別の潮すじ狙いへと変えて行くとかロを追加していくことが出来ました。ただ今回は、釣技よりも甌島、里のクロのポテンシャルの高さに救われた釣りとなったことは

訳はないのですが、それでも何とか見ていると、わずかに左に流れているようです。魚は確認できません。ただ、船長が「浅くていいヨ！」と、言っていたので、エサ盗りは気にならない？クロが浮いて来るのかな？等を考えながら仕掛け作りをします。



今回は、アミパワーグレSPと相性の良いV9と、沖撃ちスペシャルで遠投・視認・拡散・集魚性等を強調しました



今新製品のアミパワーグレSPに魚たちもニッコリ!?

いうまでもありません。



実釣・2

またまた甌島の里への釣行です。今回狙った磯は、射手崎の灯台下とハナレの間にある小さな磯でハナレ瀬です。（馬の背みたいな磯で名前は無いと思います。）定員1人がやっとで、少し釣りづらい所ですが、魚は多いと思います。今回も先週に引き続き、風は強いですが、先週に比べると全々OKです。潮は先週が上げ潮狙いだったので今週は下げ潮狙いになります。マキエサは、前回と同じです。ただ、足場が悪いので明るくなるまで待つマキエサを作ります。潮はゆっくり下げ潮が左から右に流れているよう

まず、マキエサを足元に入れて潮・魚を確認しますが、潮はいい感じで下げ潮に引張られています。魚は今の所見えません。ある程度、マキエサを入れたので仕掛けも作ります。今回は魚が見えない。でも、潮は行ってる感じなので3Bのウキをセレクトして、ハリスの真ん中にジリタン2号、サルカンの上に2Bのガン玉をつけて約3ヒロで釣りスタート。すると二投目からクロが釣れます。やはり甌島です。

話は変わりますが、先週のウキは0号で今回は3Bのウキを選んでいますが、その違いは、①クロを

仕掛け

朝一の仕掛け選びは、どんな時でも迷ったりワクワクしたりと、複雑な心境ですが、風が強い。タナは浅い。潮は行ってる等を考慮して0ウキでスタートすることに。

「アレッ」「ウーン」と思ったら仕掛けを変えればいいのですが、何か朝一は自分の仕掛けに期待する感じがあつて「まちがってない」とか「当たってる」とか思いたいの、ちよつと悩んでしまいます。仕掛けは図を参照して下さい。

実釣・1

午前7時釣りスタート。とにかく

